



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社ニチリン 上場取引所 東
 コード番号 5184 URL <https://www.nichirin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 曾我 浩之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 香山 喬尚 TEL 079-252-4151
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	33,859	15.0	4,394	63.1	5,365	38.6	3,003	43.1
2022年12月期第2四半期	29,445	△0.9	2,694	△24.3	3,870	△2.3	2,099	△0.2

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 6,821百万円 (△0.5%) 2022年12月期第2四半期 6,853百万円 (60.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	219.08	—
2022年12月期第2四半期	148.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	76,496	56,609	65.8	3,696.45
2022年12月期	72,540	52,938	63.7	3,303.52

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 50,353百万円 2022年12月期 46,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	38.00	—	52.00	90.00
2023年12月期	—	52.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	6.0	8,200	6.8	8,400	△0.6	4,600	0.5	328.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	14,371,500株	2022年12月期	14,371,500株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	749,442株	2022年12月期	379,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	13,710,998株	2022年12月期2Q	14,123,295株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）については、各国での入国規制の解除、感染対策の緩和により回復が続きました。一方、ウクライナ情勢の長期化による影響やインフレの継続、および米欧主要中央銀行の利上げの影響により景気は緩やかに減速しました。

米国においては、個人消費の回復を背景に景気は堅調に推移しましたが、賃金上昇を中心としたインフレの高止まりが継続しました。また、インフレ抑制のための急激な金融引き締めは、一部の銀行の経営破綻や金融不安を招き景気減速の懸念となりました。引き続き米国の金利政策と世界経済への影響が注視されています。

欧州においては、ウクライナ情勢により経済活動は低調に推移しました。暖冬や政府の支援策等によりエネルギー価格の上昇は抑制されましたが、資源価格の高騰と記録的な賃金上昇などインフレが続きました。このような中、利上げによるインフレ抑制と景気回復の両立が求められています。

中国においては、ゼロコロナ政策解除後の経済活動の正常化により経済回復が期待されましたが、不動産を始めとした耐久消費財の需要低迷や欧米諸国の経済関係見直しによる先行き不透明感により景気回復は鈍化しました。現在、政府による内需喚起や金融緩和などの景気対策に注目が集まっています。

アジアにおいては、世界経済の減速による輸出の低迷や金融引き締めにより、景気回復は鈍化しましたが、エネルギー価格や為替レートの安定化を受け緩やかなインフレへと向いました。今後は、新型コロナからの回復によるインバウンド需要や外需による製造業の本格回復が期待されています。

日本経済は、輸入物価、エネルギー価格の高止まり、賃上げなどインフレが顕在化しています。一方で、コスト上昇分を販売価格へ転嫁する動きが加速したことや、円安の長期化によりグローバル企業が好業績を維持したことにより、景気は緩やかに回復しています。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界に関する状況は、次のとおりであります。

自動車の生産販売は、北米向けや国内向けでは昨年と比較し回復傾向にありますが、半導体等部品の安定した供給や中国、欧州市場での急速なEV車需要の加速によるガソリン車販売の低迷は日系自動車業界にとって懸念事項となっています。世界的に各国規制によるEV化の流れは趨勢となっており、市場シェア維持のためEV化への早期対応が課題となっています。

この結果、当第2四半期連結累計期間における国内乗用車メーカー8社の国内四輪車販売台数は、前年同四半期比18.0%増の225万台、四輪車輸出台数は、前年同四半期比19.1%増の190万台となり、国内四輪車生産台数は、前年同四半期比20.2%増の410万台となりました。また、海外生産台数は、前年同四半期比3.7%増の843万台となりました。

このような環境のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は33,859百万円（前年同四半期29,445百万円）、営業利益は4,394百万円（前年同四半期2,694百万円）、経常利益は5,365百万円（前年同四半期3,870百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3,003百万円（前年同四半期2,099百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

半導体等部品の供給改善による国内およびアジア向けを中心とした販売回復や円安に伴う外貨建て売上高の増加により、売上高は16,787百万円（前年同四半期15,259百万円）、営業利益は1,536百万円（前年同四半期1,194百万円）となりました。

② 北米

北米市場は、個人消費の回復や半導体等部品の供給改善により、売上高は6,376百万円（前年同四半期4,998百万円）となりました。また、人手不足と人件費の上昇への対応として一部生産を日本、アジアへ移管したことや物流費の低下により、営業利益は578百万円（前年同四半期10百万円）となりました。

③ 中国

EV車需要が加速する中、日系自動車メーカーのガソリン車販売が低迷した影響を受け、売上高は5,879百万円（前年同四半期5,908百万円）となりました。また、上海等でのロックダウンの影響を受けた昨年からの改善し、営業利益は685百万円（前年同四半期535百万円）となりました。

④ アジア

半導体等部品の供給不足による顧客での生産調整が改善傾向であることから、売上高は10,588百万円（前年同四半期8,778百万円）、営業利益は1,538百万円（前年同四半期1,339百万円）となりました。

⑤ 欧州

ウクライナ情勢や半導体等部品の供給不足による顧客での生産調整が改善傾向であり、売上高は3,200百万円（前年同四半期2,436百万円）、営業利益は38百万円（前年同四半期は営業損失124百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、政治的緊張による地政学的リスクが高まり、それに起因したエネルギー価格・原材料価格の高騰による物価の高止まりが続く中、欧米を中心とした各国でインフレ抑制のため金融引き締め政策が維持されており、今後は緩やかな景気の減速が見込まれています。

日本経済においても、新型コロナウイルス禍からの経済活動の正常化に併せて、景気は緩やかに回復するとの見通しですが、長期化している円安収束から円高基調への転換も見込まれており、先行き不透明な状況は払拭されておりません。

自動車業界は、半導体不足など供給網の混乱が落ち着き、販売および生産が増加したことに加え、円安によるプラスの効果を受けました。日系自動車メーカーの第1四半期(2023年4月-6月)決算は好調、また当社グループの第2四半期連結累計期間の連結業績についても、概ね計画通り堅調な推移を示しております。しかし、海外市場における電気自動車の台頭、特に中国市場では現地自動車メーカー等の市場シェアが拡大している等、日系自動車メーカーの販売減速の動きが鮮明になっており、今後の事業環境は楽観視できない状況にあります。

このような事業環境を踏まえ、当社グループの2023年12月期の連結業績予想については、2023年2月14日の公表値を修正しておりません。為替についても、足元では1US\$=140円前後の円安傾向で推移しておりますが、当社グループでは、第3四半期以降の為替の設定を1US\$=135円としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,354	20,193
受取手形及び売掛金	11,246	11,782
電子記録債権	1,934	1,871
棚卸資産	12,236	12,292
デリバティブ債権	0	—
その他	1,858	1,718
貸倒引当金	△38	△23
流動資産合計	45,592	47,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,484	16,520
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,807	△8,377
建物及び構築物（純額）	7,676	8,143
機械装置及び運搬具	24,590	26,388
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,838	△18,068
機械装置及び運搬具（純額）	7,752	8,320
土地	3,023	3,090
建設仮勘定	944	976
その他	6,064	6,547
減価償却累計額	△3,807	△4,177
その他（純額）	2,256	2,369
有形固定資産合計	21,653	22,899
無形固定資産		
その他	344	345
無形固定資産合計	344	345
投資その他の資産		
投資有価証券	3,644	3,974
繰延税金資産	667	643
その他	638	798
投資その他の資産合計	4,949	5,417
固定資産合計	26,947	28,662
資産合計	72,540	76,496

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,889	5,837
電子記録債務	2,962	2,690
短期借入金	132	—
1年内返済予定の長期借入金	626	605
1年内返済予定のリース債務	287	302
未払法人税等	975	1,117
賞与引当金	271	460
デリバティブ債務	—	3
その他	2,446	3,112
流動負債合計	13,592	14,130
固定負債		
長期借入金	754	472
リース債務	711	659
再評価に係る繰延税金負債	610	610
繰延税金負債	592	414
役員退職慰労引当金	4	0
退職給付に係る負債	3,131	3,179
その他	203	420
固定負債合計	6,009	5,757
負債合計	19,601	19,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,158	2,158
資本剰余金	1,998	2,004
利益剰余金	36,814	39,090
自己株式	△661	△1,380
株主資本合計	40,309	41,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	809	1,073
土地再評価差額金	1,385	1,385
為替換算調整勘定	3,623	5,917
退職給付に係る調整累計額	96	103
その他の包括利益累計額合計	5,915	8,480
非支配株主持分	6,714	6,256
純資産合計	52,938	56,609
負債純資産合計	72,540	76,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)
売上高	29,445	33,859
売上原価	23,007	25,864
売上総利益	6,438	7,995
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	992	768
貸倒引当金繰入額	34	△14
役員報酬	159	166
役員退職慰労引当金繰入額	1	0
給料及び手当	940	1,027
賞与引当金繰入額	87	85
退職給付費用	37	34
法定福利費	147	158
旅費及び交通費	61	91
租税公課	99	151
賃借料	55	67
減価償却費	179	147
その他	948	915
販売費及び一般管理費合計	3,744	3,601
営業利益	2,694	4,394
営業外収益		
受取利息	43	105
受取配当金	32	24
受取賃貸料	4	5
為替差益	1,095	825
助成金収入	9	—
その他	42	46
営業外収益合計	1,227	1,006
営業外費用		
支払利息	20	20
その他	30	14
営業外費用合計	51	35
経常利益	3,870	5,365
特別利益		
固定資産売却益	5	3
投資有価証券売却益	100	130
特別利益合計	106	134
特別損失		
固定資産売却損	7	7
固定資産除却損	30	22
特別損失合計	38	29
税金等調整前四半期純利益	3,937	5,470
法人税、住民税及び事業税	1,455	1,630
過年度法人税等	—	402
法人税等調整額	△95	△248
法人税等合計	1,359	1,783
四半期純利益	2,578	3,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	479	683
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,099	3,003

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,578	3,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231	263
為替換算調整勘定	4,508	2,863
退職給付に係る調整額	△1	7
その他の包括利益合計	4,275	3,134
四半期包括利益	6,853	6,821
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,501	5,569
非支配株主に係る四半期包括利益	1,352	1,252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年1月1日 至2022年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	8,919	4,973	5,497	7,685	2,369	29,445	—	29,445
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,919	4,973	5,497	7,685	2,369	29,445	—	29,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,340	25	410	1,092	66	7,935	△7,935	—
計	15,259	4,998	5,908	8,778	2,436	37,381	△7,935	29,445
セグメント利益又は損 失 (△)	1,194	10	535	1,339	△124	2,955	△261	2,694

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△261百万円には、セグメント間の未実現損益△264百万円、セグメント間取引消去3百万円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	9,580	6,365	5,333	9,477	3,103	33,859	—	33,859
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,580	6,365	5,333	9,477	3,103	33,859	—	33,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,206	10	546	1,111	97	8,972	△8,972	—
計	16,787	6,376	5,879	10,588	3,200	42,832	△8,972	33,859
セグメント利益	1,536	578	685	1,538	38	4,376	17	4,394

(注) 1. セグメント利益の調整額17百万円には、セグメント間の未実現損益12百万円、セグメント間取引消去4百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。